

② 授業力向上講座

直面する教育課題や子どもたちの変化に対応した授業づくりと教員の指導力の向上を図るため、各教科及び領域において業績のある教員や大学教員等を招聘し研修講座を実施する。

本市教育の重点施策である「ことばと読書を大切にす教育」及び全教科における言語活動の充実をめざし、講義や講話、ワークショップ等を実施し、体験的、実践的に学ぶ。

第1回 平成28年7月25日(月)

講師 大阪成蹊大学 准教授 橋本 隆公 氏

演題 「数学科・算数科における子どもの思考が見える授業づくり」

【内容】

講義及び実践ワーク

- 1 牛乳パックから三角すいを一瞬で作ろう
- 2 クイズの答えをレポートにしよう
 - (1) クイズの答えと、その答えの説明が入っている
 - (2) 図などを用いて、分かりやすく表現されている
 - (3) 各自の教育実践の経験と照らしあわせた補足がある
- 3 学習指導要領の変遷
- 4 算数科における学び合い（言語活動の充実）
 - (1) 「問題」のスリム化
 - (2) 「気づき」のめあて化と自分化
 - (3) 「めあて」の焦点化
 - (4) 「見通し」の系統化
 - (5) 「考え」の学び合い活動
 - (6) 「まとめ」の一般化・抽象化・式化
 - (7) 「答え」の具体化
- 5 まとめ
 - (1) 子ども主体の学び（アクティブ・ラーニング）
 - (2) 学校で共有化（チーム学校）
 - (3) 研究（子どもの成長）を楽しむ



第2回 平成28年8月3日(水)

講師 大谷大学文学部 教授 荒瀬 克己 氏

演題 「アクティブ・ラーニングに向けた授業デザイン」

【内容】

- 1 汎用能力（技術）について
 - (1) 批判的思考力
 - (2) メタ認知（能力）
 - (3) 構造化
- 2 キャリア教育について
 - (1) 在り方生き方・ライフスタイル
 - (2) 「はたらく」
 - (3) 教育基本法・学校教育法から
- 3 学力（アクティブ・ラーニング）について
 - (1) 学力（学んで得た力・学ぶための力・学ぼうとする力）
 - (2) 学習指導要領から
 - (3) 発見学習・問題解決学習・体験学習・調査学習
- 4 カリキュラム・マネジメント
 - (1) 教育内容を教科相互の関係で捉える
 - (2) PDCAサイクルの確立
 - (3) 教育内容・授業方法と諸条件の整備・活用をつなぐ



第3回 平成28年8月4日(木)

講師 京都女子大学元教授・附属小学校元校長 吉永 幸司 氏

演題 「書く力を強化する～主体的な学びにつなげるために～」

【内容】

- 1 教材研究について「アップとルーズで伝える」（光村図書4年下より）
 - グループ教材研究
 - ・「ねらい」を確認する
 - ・教材の次ページ「学習活動」を把握する。
 - ・教材を読む（注目すべき言葉に下線、接続詞や副詞に注目）
- 2 ノートの形、工夫について
 - ・学びを記録する（基礎）
 - ・学びを見渡す（情報整理）
 - ・学びを生活に結びつける（自己の記録）
- 3 ノート指導Q&A



第4回 平成28年8月5日(金)

講師 兵庫教育大学大学院 副学長 米田 豊 氏

演題 「思考力・判断力・表現力を磨く ～アクティブ・ラーニングを組み込んだ授業改善～」

【内容】

- 1 言語活動について
- 2 単元目標と本時の目標について
- 3 授業仮説について
If A then B 「もしAしたらBになるであろう」
- 4 思考・判断・表現の構造について
アクティブ・ラーニングの内化と外化
分類→比較→関連→総合→概念化
- 5 授業づくりの木について
 - (1) 子どもの実態、学習指導要領、教科書、研究成果の分析等を用いた学習指導案の作成
 - (2) 校内研修会等で事前に模擬授業の実施、板書計画の検討
 - (3) 研究授業の実施
 - (4) 事後検討会の実施
 - (5) 改善学習指導案の作成

